

2019 年度実施概要

学校名

大阪教育大学附属平野中学校

採択活動名

和歌山加太 磯実習 ～今までの実施で明らかになった課題を解決するために～

取り組みの概要

4名1チームの班活動で、テーマ設定から必要な器具の用意、事前学習と、磯実習後のレポート作成まで協力して行っている。この取り組みは昨今話題の「主体的対話的で深い学び」そのものであると考え、教科でも重要な行事ととらえ、例年中学校3年生1学期に学年の行事として実施している。

しかしながらテーマ設定上、磯で解剖する必要がある班に対して器具や技術習得のための取り組みが不十分なために、生物を無駄に殺生している場面があることも否定できない。

この問題を解決するため、本学大学院連合教職実践科と共同で解剖のためのスキルアップを2学年の動物単元無脊椎動物の学習内で解剖自習として取り組みを行った。

今年度実施した磯実習で、特に解剖を行っているグループの作業風景を動画で撮影し、解剖時特に苦労している点や、手間取っている点を後日分析し、解剖実習での作業説明や机間巡視時のアドバイスに役立てた。本来であれば磯の生物を解剖の材料にすることがベストではあるが、入手困難であることや、協力を得た大学研究室の事情もあり解剖は蚕蛾の幼虫で実施した。実習を終えてアンケート調査を行ったところ、解剖についての理解が深まったと肯定的な意見の生徒が90%、磯実習で今回の解剖自習が役に立つと思う生徒が84%と、概ね事前に行った解剖講習が意義のあるものであるという手ごたえを得ることができた。

今回の研究成果は、本学主催の附属学校園教員と大学教員との研究交流会（新型コロナウイルスの影響で縮小開催）においてポスター発表も行った。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 自然の中の生物（3学年）

2. 動物の分類（2学年）